



《夜とサーカス》(部分) 1994年

# 早川義孝 回顧展

G I C O H A Y A K A W A

2018年  
5月27日(日) - 8月5日(日)

休館日: 月・火曜日(祝日は開館)

開館時間: 午前9:30~午後5:00(入館は午後4:45まで)

入場料: 一般600円(前売り400円)、高大生300円、中学生以下無料

※65歳以上の方は年齢確認ができるものをご提示いただければ前売り料金となります。

※障害者手帳をご持参の一般の方はご本人と同伴者1名様まで前売り料金となります。

主催: ミウラート・ヴィレッジ(三浦美術館)

協賛: 株式会社ミウラ

後援: 愛媛県教育委員会、松山市教育委員会、愛媛新聞社、南海放送、  
テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、FM愛媛

次回展覧会: 安倍安人展 ~改革する備前とその周辺~

同時開催 内田江美展

2018年8月19日(日) - 10月28日(日)

MIURART VILLAGE  
MIURART

# 早川義孝回顧展

G I C O H A Y A K A W A

当館での「早川義孝展～青い風～」の開催から6年が経ちます。未だに展覧会の余韻を求めて来館される方もおられ、その思い出にふれる度に、早川義孝氏と共に展覧会を開催できた喜びを感じております。特に氏が実際に松山の風景や文化にふれ、心に留まったものを想い描いた『松山詩想画』は、文化があふれる松山を再認識することができ、そして氏の展覧会に対する強い気持ちを感じられる思い出深い作品となりました。

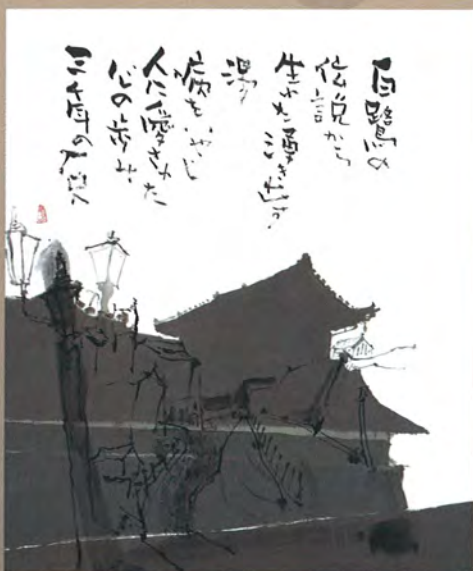
今展では、再び『松山・詩想画』を展示し、当手を回顧しながら改めて氏の叙情的で幻想的な作品群をご紹介します。



《森に忘れた二輪車》 1996年



《シンドバットの船》 1998年



松山詩想画 《道後回想》 2012年



《サーカスが来た夜》 1996年



《アトリエの夜》 1995年



《沼のほとりて》 1996年

## 早川義孝 (1936-2012)

1936年、東京浅草に生まれる。幼年期より戦争疎開で柏市に移り住み、常総台地の豊かな自然で育ち「吟遊詩想画人」と称されるようになった。高校在学中より全日本学生油絵コンクールに出品し、前代未聞となる2年連続文部大臣賞受賞を成し遂げた。審査にあたった安井曾太郎、須田国太郎らの激賞を受け、他の多くの芸術院会員の推薦により武蔵野美術大学に進学した。1989年に開催したパリ・マルセル・ベルネームでの個展では、琳派の今日的展開だと評価され、国内に留まらず海外でも一躍脚光を浴びた。新槐樹社名誉会長として、後進の育成と芸術の普及に貢献した。



### アクセス

- ◆ JR松山駅から市内電車にて松山市駅へ、伊予鉄バス北条行き「内宮バス停」、又は「花見橋バス停」下車 徒歩約15分
- ◆ 松山空港から約11km ◆ 松山I.C.から約16km ◆ 今治I.C.から約35km

## MIURART VILLAGE

# MIURART

ミウラート・ヴィレッジ(三浦美術館)

〒799-2651愛媛県松山市堀江町1165-1  
TEL089-978-6838 FAX089-978-0323  
<http://www.miuraz.co.jp/miurart>  
E-mail:miurart@miuraz.co.jp

駐車場: 30台と土・日・祝日は臨時駐車場(三浦工業福角駐車場約250台)をご利用できます。